



## 沖縄県民大行動に650人

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に反対する「オール沖縄会議」は、一日、辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前で県民大会を開催しました。主催者発表で650人が参加し、団結を固めあいまして、行動を実施しました。

4月1日は、78年前の沖縄戦で米軍が沖縄本島に上陸した日があたります。オール沖縄会議の高里鈴代共同代表は、「沖縄戦で亡くなつた方々を追憶するだけでなく、頑張って苦労して生きぬいてきた方たちの思いを受け継いで新基地を造らせない決意をさらに強く訴え続けていく」とあいさつしました。

出発したピースウォーカーのメンバーが5日間かけてゲート前に到着。ピースウォーカーは、「請願署名の無所属」は、「請願署名の周知とともに、沖縄戦で県民が南部から北部まで歩いて避難した戦争の逼体験も兼ねました。平和の歩みを若い世代がつないでいく」と述べ、署名成功を訴えました。

県議会と党会派を代表し、日本共産党的瀬長美佐雄県議が「玉城デニー知事の『新たな建議書』が目指す基地のない平和な島という沖縄のあるべき未来に向かって頑張ろう」と呼びかけました。デニー知事が激励メッセージを寄せ、日本

「辺野古新基地建設NO」のプラカードを掲げる県民大行動参加者一人、沖縄県名護市辺野古